2026年11月13日

各　位

会 社 名　竹田ｉＰホールディングス株式会社
代表者名　代 表 取 締 役 社 長　ＣＯＯ　　細野 浩之
（コード番号　7875　東証スタンダード・名証メイン）
問合せ先　上席執行役員CFO 経営統括本部長　　巻尾 忠臣
TEL（052）871-6351

剰余金の配当（中間配当・増配）に関するお知らせ

当社は、2026年11月13日開催の取締役会において、下記のとおり、2026年９月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

１．配当の内容

	決定額	直近の配当予想 （2026年５月14日公表）	前期実績 （2026年３月期中間）
基準日	2026年９月30日	同左	2025年９月30日
１株当たり配当金	10円00銭	７円00銭	14円00銭
配当金の総額	163百万円	―	117百万円
効力発生日	2026年12月１日	―	2025年12月１日
配当原資	利益剰余金	―	利益剰余金

（注）当社は、2026年４月１日付で普通株式１株につき２株の株式分割を実施しております。前期実績は分割前の実際の配当金額を記載しております。前期の１株当たり中間配当金を分割後の基準に換算すると７円00銭です。

２．理由

当社は、安定的な配当を重視し、連結配当性向30%以上を基本とするとともに、１株当たり年間配当額の下限を設定しております。

当中間連結会計期間は、成長分野と位置付ける半導体関連マスク事業が利益の拡大を牽引し、連結営業利益は前年同期比26.4%増加するとともに、前回公表予想を上回りました。また、大英エレクトロニクス株式会社の子会社化により、基板設計の対応領域を広げ、電気検査サービスを事業領域に加えるなど、今後の成長に向けた事業基盤の拡充を進めております。

こうした業績の成果を株主の皆さまへの利益還元につなげるため、財務状況及び今後の資金需要を総合的に勘案し、中間配当を前回予想の１株当たり７円から３円増額し、10円といたしました。期末配当予想は16円50銭を据え置き、年間配当予想を23円50銭から26円50銭へ、12.8%増額いたします。

当期は、８月に自己株式取得も実施しており、今回修正する年間配当予想と合わせた株主還元総額は約771百万円、総還元性向は約53.2%となる見込みです。

今後も、成長分野への投資を通じて収益基盤を強化し、持続的な利益成長と株主還元の充実を図ることで、中長期的な企業価値の向上に取り組んでまいります。

なお、通期連結業績予想については、2026年８月10日に公表した売上高及び各利益の予想を据え置いております。

（参考）配当予想は次のとおりであります。

１株当たり配当金

基準日	第２四半期末	期末	年間
配当予想	―	16 円 50 銭	26 円 50 銭
当期実績	10 円 00 銭	―	―
前期実績 （2026 年３月期）	14 円 00 銭	33 円 00 銭	47 円 00 銭

（注）当社は、2026 年４月１日付で普通株式１株につき２株の株式分割を実施しております。前期実績は分割前の実際の配当金額、2027 年３月期は分割後の金額です。前期実績を分割後の基準に換算すると、第２四半期末７円 00 銭、期末 16 円 50 銭、年間 23 円 50 銭です。

＜ご参考＞配当性向及び自己株式取得を含めた株主還元

今回修正する年間配当予想 26 円 50 銭に基づく連結配当性向は、約 30.2％となる見込みです。

また、当社は 2026 年８月に総額 337 百万円の自己株式取得を実施いたしました。年間配当総額の見込額約 433 百万円と合わせた当期の株主還元総額は約 771 百万円、総還元性向は約 53.2％となる見込みです。

（注）

１．連結配当性向は、１株当たり年間配当予想額を、本日公表の決算短信に記載した通期予想の１株当たり当期純利益で除して算出しております。

２．総還元性向は、年間配当総額の見込額と当期の自己株式取得総額の合計を、通期予想の親会社株主に帰属する当期純利益 1,450 百万円で除して算出しております。年間配当総額は、2026 年９月 30 日時点の配当対象株式数 16,372,858 株と年間配当予想 26 円 50 銭に基づく概算額であり、今後の株式数の変動は考慮しておりません。

※本資料に記載されている配当予想等の将来に関する記述は、現時点における入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の配当金額等は、今後の様々な要因により予想と異なる可能性があります。

以　上